



【園目標】 あかるく やさしく たくましく

＜園児の実態＞

- ・友達が好きで一緒にいると安心したり、刺激を受けて真似をしたりする姿がある。
- ・自分の思いを伝えようとする気持ちはあるが、相手の気持ちはまだ考えられない子もいる。
- ・社会との関わりが少ないため実体験が乏しく、いろいろな特性をもつ子が増えてきている。

【重点目標】 たくましい子

＜教育行政の基本方針＞

(県)「有徳の人」アクションプラン  
(市) 学び合い、学び続ける「ふじの人」づくり

＜たくましい子とは＞

- ・元気なあいさつができる子
- ・自己決定できる子
- ・いろいろな友達と関わり、思いを受け入れながら遊ぶ子
- ・友達と共通の目的に向かって、試行錯誤しながら夢中になって遊ぶ子
- ・自分の思いを伸び伸びと表現できる子

＜田子浦小学校・中学校連携＞

共通目標「じぶんから」  
小学校重点目標「やってみよう」

できた！

うれしい



【研究テーマ】

自分から考え「やってみよう！」とする子をめざして

もったいないから  
まだ使えるね！



どの紙使う？

【仮説】

繰り返し考えたり、試したりしながら、物事に関われるような環境構成や援助をすることで、自分から考えやってみようとする子になるであろう。

リサイクル  
お願いします！



【願う子どもの姿】

- 年少・・・友達と関わるのが楽しいと感じ、一緒に遊ぼうとする。
- 年中・・・思いを伝えながら、友達と楽しく遊ぶ。
- 年長・・・自分と相手の気持ちに折り合いをつけ、協同して遊ぶ。

それいいね！

試してみよう



どうやるの？  
教えて！



ミミズの土を混ぜて、  
おいしい野菜を育てよう！

【具体的な取組】

1. 多様な経験（成功、失敗、試行錯誤等）を積み重ねていく。
2. 年齢や特性に合った興味、関心、探求心を引き出すような環境構成や援助の工夫をする。
3. 自分の良さに気付く肯定的な言葉掛けをし、友達の良いさも認め合えるような雰囲気作りに努める。
4. 3年間を見通したSDGsの活動に取り組み、遊びや生活につなげていく。
5. 家庭、地域と連携しながら、様々な実体験を重ねていく。
6. ことばの教室と連携しながら、子どもを複眼的に捉える。